

【第2号議案】

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人 日本エスコフィエ協会

事業名	事業内容
出版	<ul style="list-style-type: none"> ・若手料理人の育成、エスコフィエの料理技術の保存及び技術向上を目的とした『エスコフィエの技 現代の術』の販売 年間403冊販売（うち会員ほか一般に34冊、調理師学校に369冊販売）
通信教育	<ul style="list-style-type: none"> ・『料理フランス語通信講座』（日仏料理協会との共催） ・春・秋・冬の年3回開講 受講者実績2名
広報（会報）	<ul style="list-style-type: none"> ・エスコフィエ通信の定期発行 年4回（4、7、10、1月）を通して、会員及び一般に広くフランス料理に関する情報と協会活動の掲載 ・全国各地の会員活動状況、創立50周年企画としてリレー座談会の掲載 ・梶谷彩子人文科学博士寄稿の「美食の都パリ」から「美食の国フランス」への記事掲載
広報 （インターネット）	<ul style="list-style-type: none"> ・エスコフィエ協会の認知度を高めるため、ホームページ、Facebook、YouTubeなどによる協会活動の発信や広報活動を強化 1日平均アクセス数は144件 ・会員ページ登録制度の推進
総会（総会晩餐会）	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月2日（水）オークラ東京において開催予定の協会創立50周年記念『総会・講演会・晩餐会』は新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えず、昨年同様開催中止 ・6月2日（水）オークラ東京「メイブルの間」にて総会のみ開催
総会 （ディシプル章授与式）	<ul style="list-style-type: none"> ・ディシプル昇格者62名には特例により郵送によるディプロム授与
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ディシプル デスコフィエ アンテルナショナル（エスコフィエ協会国際本部）、フンダシオン（エスコフィエ財団）及び諸外国のエスコフィエ協会との交流 ZOOMによる国際会議参加 ・2021年10月開催予定ニース大会は2022年4月に延期、それも延期となり2022年10月ニースにて開催予定（ヤングシェフ国際コンクールも同様） ・エビキュロスの晩餐会等協会活動を定期的に世界配信
フランス料理 （勉強会）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染再拡大により昨年に続き今年度は活動見送り
フランス料理 （コンクール）	<ul style="list-style-type: none"> ・「第10回エスコフィエ・フランス料理コンクール」はオリンピック開催のため時期をずらし1～3月ごろ開催予定が新型コロナウイルス感染拡大によるオリンピックの1年延期の状況を鑑み、今年度は見送り ・「第2回エスコフィエ・ヤングシェフコンクール」第1回優勝者がそのままニース世界大会に参加となり国内予選は見送り

フランス料理 (講習会)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度の予算計上無し
社会貢献 (親子ふれあいキャンプ)	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 徳島県母子寡婦福祉連合会が主催するキャンプで調理指導主催者から昨年引き続き開催見送りの通知が届き、事業は中止
社会貢献 (社会福祉食事会)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、今年度の予算計上無し
地域活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「エピキュロスの晩餐会」全国 11 会場で開催 生誕 175 年を記念し、セルリアン東急ホテルにおいては世界共通メニュー、他会場は地方色に溢れた独自のメニュー構成で開催。各会場とも感染防止対策を完璧にし、お客様をお迎え
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入会会員（アミ会員・賛助会員）へのディプロム等の送付 今年度入会者正会員 41 名、団体賛助会員 0 社（個人賛助 1 名） ・28 校の各調理師専門学校（団体賛助会員）成績優秀生徒 1 名に『優秀奨励賞』のディプロム授与 ・会員名簿 2022 年度版作成